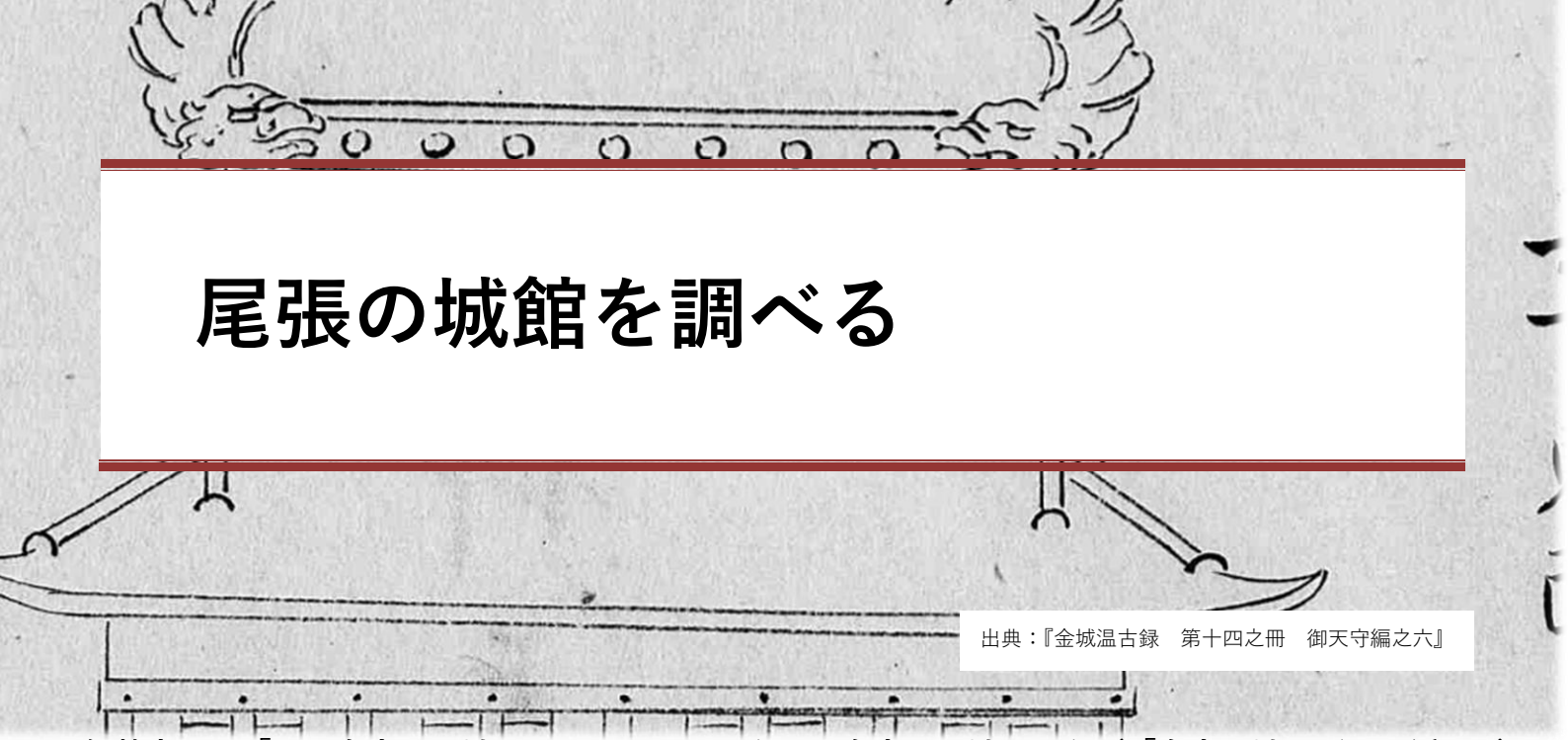
尾張の城館を調べる



出典：『金城温古録　第十四之冊　御天守編之六』

伊勢音頭に「尾張名古屋は城でもつ」とあるように、名古屋の城といえば「名古屋城」が思い浮かびますが、戦国時代までは尾張には数多くの城がありました。しかし、江戸時代になると各地の城は廃城とされて、尾張の城は名古屋城と犬山城の二つだけになります。そして、廃城となった城（跡）は「古城」として扱われ、古絵図や旧跡をまとめた地誌類などに記録されました。

ここでは尾張の城館（跡）を調べるのに役立つ参考図書と、名古屋城に関する資料についてご紹介します。

1.　尾張の城館を調べる　　2.　名古屋城を調べる

📖：図書　🌐：インターネット

1．　尾張の城館を調べる

中世までの城館の情報は主に近世の地誌・記録・絵図に含まれています。また、所在地の自治体などにより個別の城館の発掘調査等の研究も行われており、それらの情報は調査報告書や市町村史（誌）などで知ることができます。

1 -1.　主な参考図書・文献

①『日本城郭全集』、②『日本城郭大系』、③『尾州古城志』、④『寛文村々覚書』、⑤『尾陽雑記』、⑥『尾張徇行記』、⑦『張州府志』、⑧『張州雑志』、⑨『尾張志』、⑩『蓬州旧勝録』、⑪『尾張名所図会』、⑫『小治田之真清水』、⑬村絵図、⑭『信長公記』、⑮『尾州濃州御領分古城記』

1-2.　近世の地誌・記録・絵図に含まれている城館情報を調べる

名古屋市内の城館の場合は、（A）「名古屋市内城館一覧」（『城からのぞむ　尾張の戦国時代』所収）や（B）『愛知県中世城館跡調査報告 1』により、どのような参考図書・文献に記載があるのか調べることができます。その他の尾張の城館の場合は、まず（B）『愛知県中世城館跡調査報告 1』を調べてみます。知多地域の城館については（C）『愛知県中世城館跡調査報告 4』が詳しいです。

（A）📖『城からのぞむ　尾張の戦国時代』　名古屋市博物館／編集　名古屋市博物館　2007 年　［A 24］

下記の『愛知県中世城館跡調査報告 1』の情報をベースに各区・学区別に名古屋市内の城館を一覧にした「名古屋市内城館一覧」があり、旧村（名）、（小学校）学区名、城主のほか、典拠文献での記載の

有無についてまとめられています。また、「「尾州古城志」諸本内容対照一覧」があり、蓬左文庫・岩瀬文庫・鶴舞中央図書館（市 31-35、0A2-77）・名古屋市博物館所蔵の諸本の内容が一覧できます。

参照文献	①『日本城郭全集』、②『日本城郭大系』、③『尾州古城志』、④『寛文村々覚書』、⑬村絵図、⑭『信長公記』

（B）📖『愛知県中世城館跡調査報告 1』　愛知県教育委員会／編集　愛知県教育委員会　1991 年　［N A 20］

2 万 5 千分の 1 地形図に城館の位置を示した「中世城館分布図」、時期・規模・城主・文献・遺構の有無・地籍図を用いた復元図や縄張り図（一部のみ）等をまとめた「城館の概要」があります。また、「市町村別城館名索引」、「五十音順城館名索引」、「画数順城館名索引」等の索引や「中世城郭関係調査報告書一覧（尾張地区）」、「城館絵図」もあります。

主な参照文献	①『日本城郭全集』、②『日本城郭大系』、④『寛文村々覚書』、⑥『尾張徇行記』、⑦『張州府志』、⑧『張州雑志』、⑨『尾張志』、⑬村絵図、⑭『信長公記』

（C）📖『愛知県中世城館跡調査報告 4』　愛知県教育委員会／編集　愛知県教育委員会　1998 年　［N A 20］

知多半島の城館跡の現況調査で、『愛知県中世城館跡調査報告 1』に登載されているものを含めて、改めて調査・執筆されたものです。その他に知多半島にある近世以降に構築された「尾張藩の御殿・代官所・屋敷」・「海防関係遺跡」の現況調査、蓬左文庫所蔵の『尾州古城誌』・『知多郡砲台峰火台』の翻刻、「城館関連空中写真・絵図」があります。

主な参照文献	①～⑬のほか、所在地の市町村史（誌）等

📖『都道府県別日本の中世城館調査報告書集成 11』　村田修三／監修　東洋書林　2001 年　［AA5218］

上記の『愛知県中世城館跡調査報告 4』の復刻が収録されています。

1-3.　城館の概要を知る

📖『日本城郭全集　第7』　新人物往来社　1966年　［N521］（主な参考図書・文献①）

📖『日本城郭大系　9』　新人物往来社　1979年　［N521］（主な参考図書・文献②）

愛知県の城館729の「所在地」と「事項」（簡単な解説）がまとめられています。そのうち主な城館については「所在地」・「別称」・「創築年代」・「創建者」・「形式」・「規模」・「文化財指定の有無」・「関係主要文献」と解説があります。その他、城郭に関する「文献・史籍解題」や「愛知県城郭分布地図」があります。

📖『愛城研報告』　愛知中世城郭研究会　1994年-　［A 52］

愛知中世城郭研究会の研究機関誌。第3号には『尾州濃州御領分古城記』（主な参考図書・文献⑮、岐阜県立図書館本と蓬左文庫本の活字翻刻）、第6号には「愛知県関係城館論文目録」があります。

📖『昭和30年代・濃尾平野と周辺の中世城館』　服部英雄／［著］　2010年　［A 20］

著者が中学生の頃に撮影した城跡の写真と調査メモのほか、「伝城主」・「石碑」・「説明板」・「文献」・「郡誌編纂時（おおむね1920年代）当時の遺存状態」・「関連する地名」などがあります。

📖『尾張の古城』　笹山忠／著　［笹山忠］　2008年　［A52］

尾張の城館340の「所在地」・「年代」・「城主」・「略史」のほか、訪ね歩いて調査した「現況」や（最寄りの公共交通機関や車による）「行き方」がわかります。

📖『愛知の城　史跡散策』　山田柾之／著　山田柾之　1993年　［N A 52］

愛知県の城館1090の「所在地」と解説があります。

📖『愛知の山城ベスト50を歩く』　愛知中世城郭研究会／編　サンライズ出版　2010年　［A 29］

愛知県の山城50（尾張10・三河40）と愛知県の平城17（尾張8・三河9）の解説があります。

📖『東海の名城50』　東海古城研究会　2010年　［5218］

📖『城』　東海古城研究会　創刊号-（欠号：80-87,100）［郷土雑誌］

2．名古屋城を調べる

名古屋城（別称：蓬左城／楊柳城／柳ケ城／亀屋城／鶴ケ城／金城／名古屋離宮）の概要、建築、美術、暮らしについて調べる際に役立つ資料をご紹介します。

🌐名古屋城公式ウェブサイト　http://www.nagoyajo.city.nagoya.jp

🌐観覧ガイド本丸御殿　https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/guide/honmarugoten/

2 -1.　名古屋城の概要

📖『名古屋城なるほどなっとく検定』　名古屋城振興協会　2008年　［A52］

📖『名古屋城いまむかし』　中部新聞社出版部／編　中日新聞社　2010年　［A 52］

📖『わが名古屋城　その歴史と見どころ』　水谷盛光／著　名古屋城管理事務所　1982年　［N A52］

📖『城郭古写真資料集成　東国編』　西ケ谷恭弘／編著　理工学社　1995年　［N 52182］

📖『名古屋叢書　続編　第13-16巻：金城温古録』　名古屋市教育委員　1965-1967年［N A08］

「金城温古録」は名古屋城についての百科事典です。21巻には索引があり、人名等からも引けます。

📖『名古屋城を記録せよ！』　名古屋市博物館／編集　名古屋市博物館　2008年　［A52］

名古屋城や上記の「金城温古録」についても詳しいです。

📖『名古屋城史』　名古屋市／編　名古屋市　1959年　［N A52］

📖『名古屋城大鑑』　城戸久／監修　愛知県引揚者厚生団体連合会　1952年　［N A52］

名古屋城焼失前の図版、解説があります。

📖『懐古国宝名古屋城』　名古屋城振興協会／編集　名古屋城振興協会　2000年　［A52］

📖『名古屋城　尾張を守護する金の鯱』　学習研究社　2000年　［A 52］

📖『新修名古屋市史』　名古屋市／編　1997年-　［A25］

第3巻第二章名古屋開府などに詳しいです。10巻に索引があります。

●名古屋城叢書（名古屋城振興協会　10巻＋続5巻）

📖『特別史蹟名古屋城　歴史・建築・美術（名古屋城叢書1）5版』　山田秋衛／著　名古屋城振興協会　1993年　［NA52］

📖『特別史蹟名古屋城年誌　信長・秀吉の智略と家康の歴史遺産（名古屋城叢書2）増補改訂版』　服部鉦太郎／著　名古屋城振興協会　1981年　［NA52］

📖『史蹟名勝名古屋城の庭園　今も生きている城郭庭園の歴史と秘密（名古屋城叢書3）増補新版』　名古屋城振興協会／編　名古屋城振興協会　1980年　［NA62］

📖『実説名古屋城青松葉事件　尾張徳川家お家騒動（名古屋城叢書4）増補改訂版』　水谷盛光／著　名古屋城振興協会　1981年　［NA25］

📖『名古屋城雑記　特別史蹟重要文化財　天守閣・御殿造営（名古屋城叢書5）増補再版』　城戸久／著　名古屋城振興協会　1994年　［NA52］

📖『史話名古屋城と城下町　歴史散歩（名古屋城叢書6）［改訂版］』　水谷盛光／著　名古屋城振興協会　1997年　［A25］

📖『秘境名古屋城御土居下物語　特殊任務と下級武士たち（名古屋城叢書7）』　岡本柳英／著
名古屋城振興協会　1980年　［NA25］
📖『巷説名古屋城綺伝　金鯱異聞・尾張藩重臣層屋敷小路三之丸写生絵図（名古屋城叢書8）』
服部鉦太郎／著　名古屋城振興協会　1982年　［NA52］
📖『史伝名古屋城旧聞録　茶人・庭匠・焼亡の壁面・武芸者（名古屋城叢書9）』　服部鉦太郎／著
名古屋城振興協会　1987年　［NA25］
📖『名古屋城いまむかし　特別史蹟　写真に見る名古屋城（名古屋城叢書10）』　服部鉦太郎／著
名古屋城振興協会　1995年　［NA52］
📖『名古屋城こぼれ話（続・名古屋城叢書1）』　水谷盛光／著　名古屋城振興協会　1995年　［NA52］
📖『名古屋城石垣の刻紋（続・名古屋城叢書2）』　高田祐吉／著　名古屋城振興協会　1999年　［A52］
📖『名古屋城の自然　昆虫編（続・名古屋城叢書3）』林昌利／著　名古屋城振興協会　2000年　［A46］
📖『名古屋城の自然　樹木と薬草編（続・名古屋城叢書4）』　林昌利／著　名古屋城振興協会
2001年　［A46］
📖『名古屋城の自然　野鳥編（続・名古屋城叢書5）』　林昌利／著　名古屋城振興協会　2002年［A46］

2-2.　名古屋城の建築

📖『日本名城集成　第3：名古屋城』　小学館　1985年　［N52182］
城の詳しい図面があります。
📖『日本建築史基礎資料集成　第14』　中央公論美術出版　1978年　［N521］
📖『名古屋城　石垣刻印が明かす築城秘話（文化財叢書第95号）』　名古屋市教育委員会　2001年　［A52］
加藤清正や加賀藩について詳しいです。
📖『尾張名所図会　巻1　復刻』　岡田啓／著　ブックショップ「マイタウン」　1995年　［A294］
加藤清正石引きの図“加藤清正普請場舊地”の掲載があります。
📖『名古屋城再建　鉄筋の城に託した希望（名タイ昭和文庫1）』　樹林舎　2010年　［A52］

2-3.　名古屋城の美術

📖『名古屋城障壁画集成』　磯博／著　　京都書院　1979年　［N721］
豊富で貴重な写真と解説があります。
📖『名古屋城本丸御殿障壁画集』　名古屋城管理事務所／［編］　名古屋城管理事務所　1990年　［NA72］
📖『失われた国宝名古屋城本丸御殿』　名古屋城特別展開催委員会　2008年　［A52］
絵画だけでなく、飾り金具などもあります。

🌐文化庁国指定文化財等データベース　https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index
“名古屋城”で検索すると文化財に指定されているものが分かります。

2-4.　名古屋城内の暮らし

📖『尾張の殿様物語』　徳川美術館／編集　徳川美術館　2007年　［A24］
歴代の尾張藩主の事績をまとめた「尾張徳川家のあゆみ」のほか、「統治システム（格式・名古屋城・知行地・家臣団・財政・法令）」「尾張徳川家の儀礼」「殿様のくらし（住宅・衣服・食事）」や資料編として「歴代の花押・落款・印章」「葵紋の変遷」「尾張徳川家主要関連寺院」「尾張徳川家系図」「尾張徳川家歴代・正室・側室・子女一覧」があります。
📖『名古屋叢書三編　第2-3巻：尾藩世記』　名古屋市教育委員会　1987年　［NA08］
初代藩主義直から16代義宣までの通史です。

📖『名古屋城物語』　朝日新聞社／編　朝日新聞社　1966年　［NA25］
📖『春姫さま』　藤沢茂弘／著　ブックショップマイタウン　2007年　［A24］
　　初代藩主義直の正室、春姫の生涯。
📖『夢童由里子の世界　尾張徳川をんなの群像』　夢童由里子／編集　中日新聞本社　1989年　［N759］

作成：名古屋市図書館（2026 年 10 月改訂）